

漢字指導の意識転換

川崎市立はるひ野小学校

土居正博



発表者について

- 創価大学教職大学院修了後、川崎市公立小学校に勤務。(現在9年目)
- 大学院時代は、文学指導について研究。
- 現場に出てからは、説明的文章指導、漢字指導、音読指導などに興味の範囲を広げつつ、細々と実践研究を継続。
- 主な受賞:「わたしの教育記録」入賞(2015,2016年)、読売教育賞(2018年)、国語科学習デザイン学会優秀論文賞(2020年)
- 漢字指導、音読指導等について現場教師向け単著を発刊。

本日の講演の概要

- (1) 一般的な漢字指導の問題点
- (2) 漢字指導の改善と具体的実践
- (3) ご質問への回答

(1) 一般的な漢字指導の問題点とは

- 定着していないこと
- 画一的な指導に陥っていること
- 一度教えたなら終わり、になっていること
- 運用力を育てることまで視野に入っていないこと

一般的な指導とは・・・？！

一文字か二文字授業で教え、家で練習ノートに練習させる。

テスト問題を教え、次の日に小テスト。

その流れを繰り返していき、一年間で配当漢字を学習し終える。

その後学期末50問テストは、あらかじめ問題を配布して学習させてから行う

定着していない・・・！？

- 「漢字50問テスト、抜き打ち（予告なし、初見問題）
でできますか？」
- ※前年度の漢字定着→全国平均59%（ベネッセ調べ）

画一的な指導に陥りがち

→元々知っている漢字にばらつきがあるのに、同じ字を同じだけ練習させられる。「練習のための」練習になっている。

また、もう読めて書ける子も、全く読めない子も、読み書き「同時に」練習をさせられる。

「一度指導したら終わり」になりがち

一度教え、ドリルに書かせ、ノートに練習させ、小テストを行えば、「指導した」ということでその後のことは子ども任せになっている。

年度初めに学習した漢字はそのまま放置され、いきなり学期末テストを迎える→覚えているわけではない

運用力育成まで目が向いていない

- 小テストも50問テストも、問題をあらかじめ伝えることで子ども達が、出題される用例でしか漢字を覚えられないこと

(2) 漢字指導の改善と具体的実践

- 読みを先に学習する「漢字ドリル音読」
- 漢字ドリルを徹底的に、個別進度で進める
- ノート練習を使い分ける
- 小テストを改良する

読みを先に学習する

- 漢字指導は基本的に「読み書き分離」の方がよい。

→読める漢字と書ける漢字は違う。だから、まずは読みを完璧にしていき、段々書けるようにした方がよい。(この考えの初出は大正時代の成城小学校の実践です。諸見里朝賢・奥野庄太郎(1921)『読方教授の革新：特に漢字教授の実験』大日本文華出版部)

- それなのに現状は「読み書き同時」指導になっている。
- 「読める」ようになった子の習得は早い。逆に漢字が苦手な子の多くは「読めない」。

漢字ドリル音読



<p>7画 険</p> <p>1 2 3 4 5 6 7</p>	<p>14画 領</p> <p>1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14</p>	<p>11画 率</p> <p>1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11</p>	<p>13画 群</p> <p>1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13</p>	<p>7画 快</p> <p>1 2 3 4 5 6 7</p>
<p>険 険 険 険 険 険 険 険 険 険 険 険</p> <p>11画</p>	<p>領 領 領 領 領 領 領 領 領 領 領 領</p> <p>14画</p>	<p>率 率 率 率 率 率 率 率 率 率 率 率</p> <p>11画</p>	<p>群 群 群 群 群 群 群 群 群 群 群 群</p> <p>13画</p>	<p>快 快 快 快 快 快 快 快 快 快 快 快</p> <p>7画</p>
<p>意味</p> <p>①あぶない。 ②切り立った様子。</p> <p>じゆく語</p>	<p>意味</p> <p>①とりまとめる。 ②大事な部分。</p> <p>じゆく語</p>	<p>意味</p> <p>①引き連れていく。 ②わり合。</p> <p>じゆく語</p>	<p>意味</p> <p>集まり。むれ。</p> <p>じゆく語</p>	<p>意味</p> <p>楽しい。気持ちがいい。</p> <p>じゆく語</p>
<p>注意</p> <p>更と書かない。</p>	<p>注意</p> <p>頭の後ろの首すじの意味からきた。</p> <p>領 ← 頌</p>	<p>注意</p> <p>あさって作ったつなの形からきた。</p> <p>率 ← 率</p>	<p>注意</p> <p>似ている字に注意。</p> <p>郡部 群集</p>	<p>意味</p> <p>「快」には「病気を治る」という意味もある。</p> <p>全快</p>

素早く、しっかりと声を出して読む！

漢字ドリルを徹底的に、個別進度で

- 「練習ノート」を全員にやらせるのは意味が無い。
- スキルだけを徹底的にやらせるだけでも覚える。漢字ドリル・スキルは全国で使われている。
- ある程度「繰り返し書く」ことは、文字習得において、欠かせないと心理学で立証されている。→ 「書き順」を徹底すべき。
- 教師から1ページごとにチェックを受け、自分のペースで進める。
- 「音読」→「指なぞり」→「書き順」→「空書き」→「鉛筆なぞり」→「書く」

期限を決め、「自分のペース」で進める

- やり方を徹底して指導した後、「自分のペース」で進めさせる。
- 今まで画一的な進め方に慣れていた子どもたちは、意欲的に取り組む。
- 時々、自分を振り返らせる。自己調整学習につなげる

漢字スキルを配布してから2週間が経ちました。自分の学習を振り返ってみましょう。

①14日間(2週間)で何ページ合格しましたか。

②あと何ページ残っていますか。

③7月10日まであと81日です。最低限、何日に1ページ合格すればいいか確認しましょう。

④そもそも、この漢字スキルの勉強のシステムで、あなたにどんな力がつくのでしょうか。思いつくことをたくさん書きましょう。

⑤決意を具体的に書きましょう。

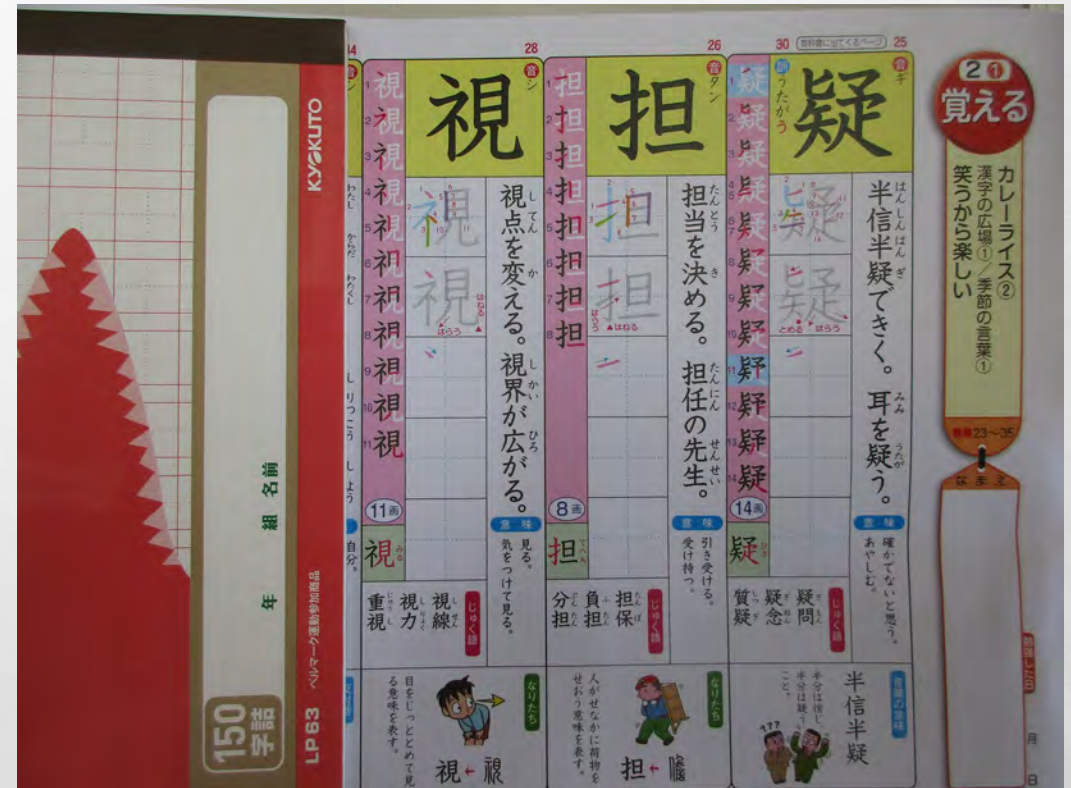
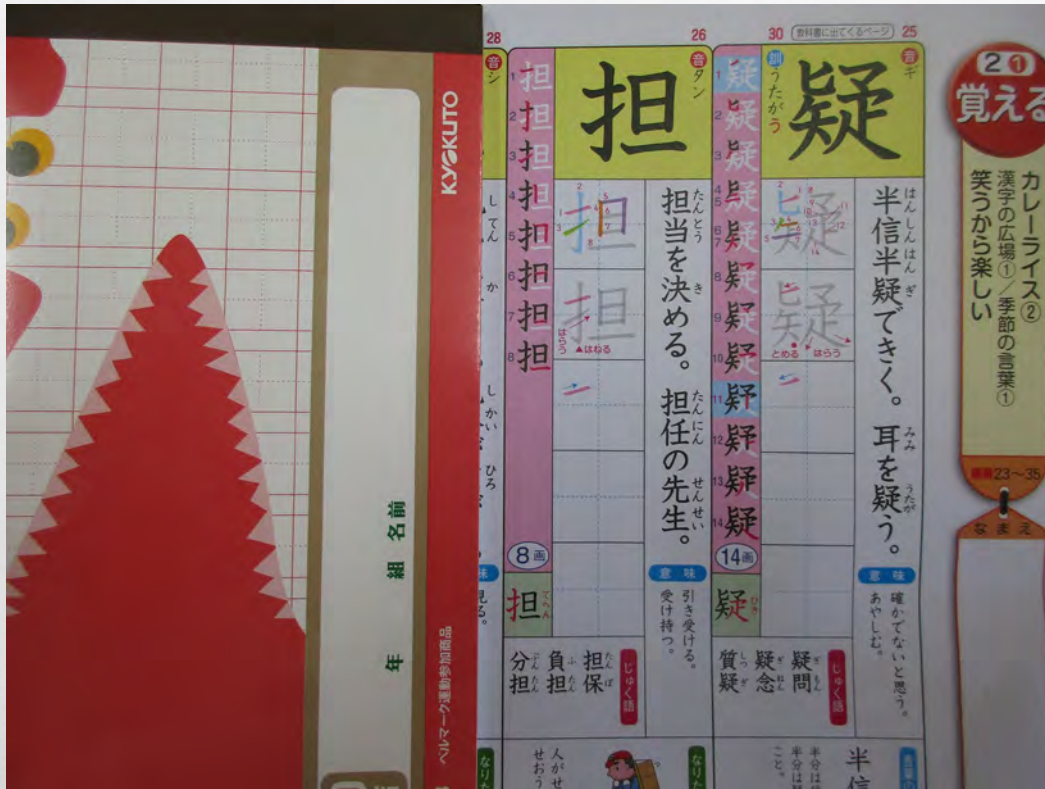
ノート練習を使い分ける

- 漢字を書けるように練習する「漢字練習」
- 漢字を使えるように練習する「漢字活用練習」
- 二つを区別する。やり方を指導する。

漢字練習とは

- 大前提として、「書けない漢字」をノートに練習する。
- 「書けない漢字」を見つける方法を指導する。
- 練習の方針は、「少なく丁寧に」、「多くの字を順番に」

セルフチェックのやり方



読み以外を隠し、空書きできるかチェックしていく。できなければ、印をつけ、漢字練習。

欲ヨク 否ヒ 習ヨク 立カタ 片 日 兔バン

翌 翌 片 片 今 晩

日 言 晩

縦に
ではなく
横に書き進めさせる。
そうすることで「思い出す」必要性が生まれる。

谷欠ヨク 否ヒ 翌ヨカク 片 日 免バン

欲	欲	否	否	翌	翌	片	片	今	晚
求	欲	決	否	日	翌	言	片	晚	晚
無	欲	安	否	翌	翌	片	片	晚	晚
欲	欲	否	否	朝	翌	づ	片	夏	晚
意	欲	成	否	翌	翌	け	片	晚	晚
欲		否		年		片		年	

時

7/12

欲ヨク 否ヒ 習ヨク 立カタ 片 日 免バン

欲	欲	否	否	習	習	片	片	今	晚
求	欲	決	否	日	習	言	片	晚	晚
無	欲	安	否	習	習	片	片	晚	晚
欲	欲	否	否	朝	習	づ	片	夏	晚
意	欲	成	否	習	習	け	片	晚	晚
欲		否		年		片		年	

時 7/12

			否	習	習	片	片	今	晚
				日		言		晚	

後日、もう一度繰り返し練習する。
同じ要領で、「横に」進む。

欲	否	翬	片	日	免
欲	否	翬	片	今	晚
求	欲	日	言	晚	晚
無	欲	翬	片	晚	晚
欲	欲	朝	づ	夏	晚
意	欲	翬	け	晚	晚
欲		年	片	年	
			時		
欲	否	翬	片	今	晚
求	欲	日	言	晚	晚
無	欲	翬	片	晚	晚
欲	欲	朝	づ	夏	晚
意	欲	翬	け	晚	晚
欲		年	片	年	晚

7/12

7/14

漢字活用練習

- セルフチェックで書けない漢字が見つからなくなってきた子は、活用練習へ。
- 熟語など他用例をたくさん集めていく。
- 熟語を集めるだけでなく、意味を調べたり、文を作ったりしていく。

水管のクイズを
たいはこせー?

月 日 ()

情	正	広	天	報	火	そ	報	ゲ	通
報	午	報	気	道	災	う	復	ー	報
不	の	委	予	ス	報	じ	を	ム	た
足	時	員	報	テ	知	報	思	ク	その
で	報	に	は	ー	機	告	い	リ	知らせ
こ	を	立	よ	シ	が	を	と	ア	知らせ
の	聞	候	く	コ	鳴	す	ど	の	の
事	く	補	当	ン	り	る	ま	報	非
件		す	た	を	郷	る	る	酉	心
は	る	る	見	く	音			を	報
迷			る					も	知
宮								ら	らせ
入								う	
り									

月 日 ()

誤	警	吉	報	報	情	広	報	報	報
報	報	報	償	恩	報	報	道	告	酉
(ま	(人	(よ	(相	(人	(あ	(し	(世	(誰	(な
ろ	々	い	手	か	り	の	の	が	ま
が	ら	た	に	ら	ら	あ	出	知	を
ッ	ら	ら	へ	せ	せ	ら	来	ら	し
下	セ	り	を	め	め	ら	ま	ら	ら
知	ッ	ッ	ッ	ッ	ッ	ッ	ッ	ッ	ッ
ら	ら	ら	ら	ら	ら	ら	ら	ら	ら
せ	こ	こ	こ	こ	こ	こ	こ	こ	こ
速	公	急	果	報	電	時	予	報	報
報	報	報	報	特	報	報	報	知	復
(ま	(甲	(ま	(幸	(電	(電	(電	(電	(電	(電
ま	別	た	運	信	信	信	信	信	信
ぐ	所	た	運	で	で	で	で	で	で
に	が	た	運	送	送	送	送	送	送
の	国民	た	運	る	る	る	る	る	る
知	に出	た	運	知	知	知	知	知	知
ら	す	た	運	ら	ら	ら	ら	ら	ら
せ		ら	運	せ	せ	せ	せ	せ	せ
		ら	運						
		ら	運						
		ら	運						

漢字 漢字 漢字 漢字 漢字 漢字 漢字 漢字 漢字 漢字 漢字 漢字 漢字 漢字 漢字 漢字

漢字小テストの改良

- 漢字小テストで書けたからといって、子どもは使えるとは限らない。
- 「小テストで書けたのに数か月後忘れている」「(小テストでできているので)読みも書きも分かっているのに漢字を使わない」は非常にあるある
- 漢字小テストがただの「一時的な記憶」を試すものになっている。評価のための評価になり、子どもの力を伸ばすものになっていない。

他用例を書き込ませる

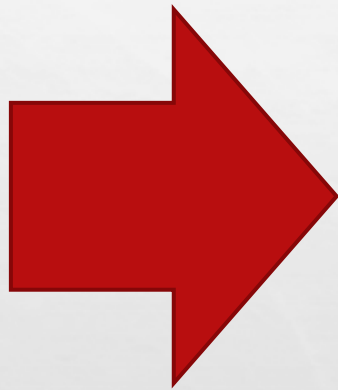
❖ かん字をかきましよう。★ (は)かん字のひらがなをひらがなで書いてみる。

⑦ 絵 (え) を	⑥ 文 (ぶん) を	⑤ 南 (みなみ) に	④ とおくへ	③ こたえを	② 雪 (ゆき) が	① 本 (ほん) を
見る	書く	すすむ。	行く	言う	のこる。	読む

かん字をれんしゅうしませよう。

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

★こたえは、ページでたしかめよう。



❖ かん字をかきましよう。★ (は)かん字のひらがなをひらがなで書いてみる。

⑦ 文 (ぶん) を	⑥ 訃 (けい) 算 (さん) が	⑤ 体 (からだ) が	④ どのさまの	③ やさいを	② けい	① 兄 (きょう) 弟 (だい) の
直す	がはやい。	弱 (よわる) る	家 (け) 来 (らい)	生 (う) る	馬 (ば) を見る。	話 (わなし)
直紅 直度	姉女 し	ひ手 算	たし 算	ひ算	算 数	計 数
X10	X10	X6	X6	X6	X6	X6

かん字をれんしゅうしませよう。

兄さん	兄よめ	兄き	兄	兄	兄	兄
-----	-----	----	---	---	---	---

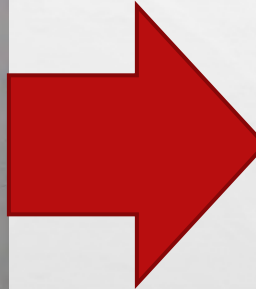
上位層は更に頑張る

❖ かん字をかきましよう。★(一)はかん字で、(二)はかん字をかきましよう。

⑦ 絵 を 見る	⑥ 文 を 書く	⑤ 南 に すすむ。	④ とおくへ 行く	③ こたえを 言う	② 雪 が のこる。	① 本 を 読む
-------------------	-------------------	---------------------	-----------------	-----------------	---------------------	-------------------

かん字をれんしゅうしましよう。

図書かん	絵日記	もく売	絵画	書るい	南国	一行	言世末	雪がっせん	立日読
------	-----	-----	----	-----	----	----	-----	-------	-----



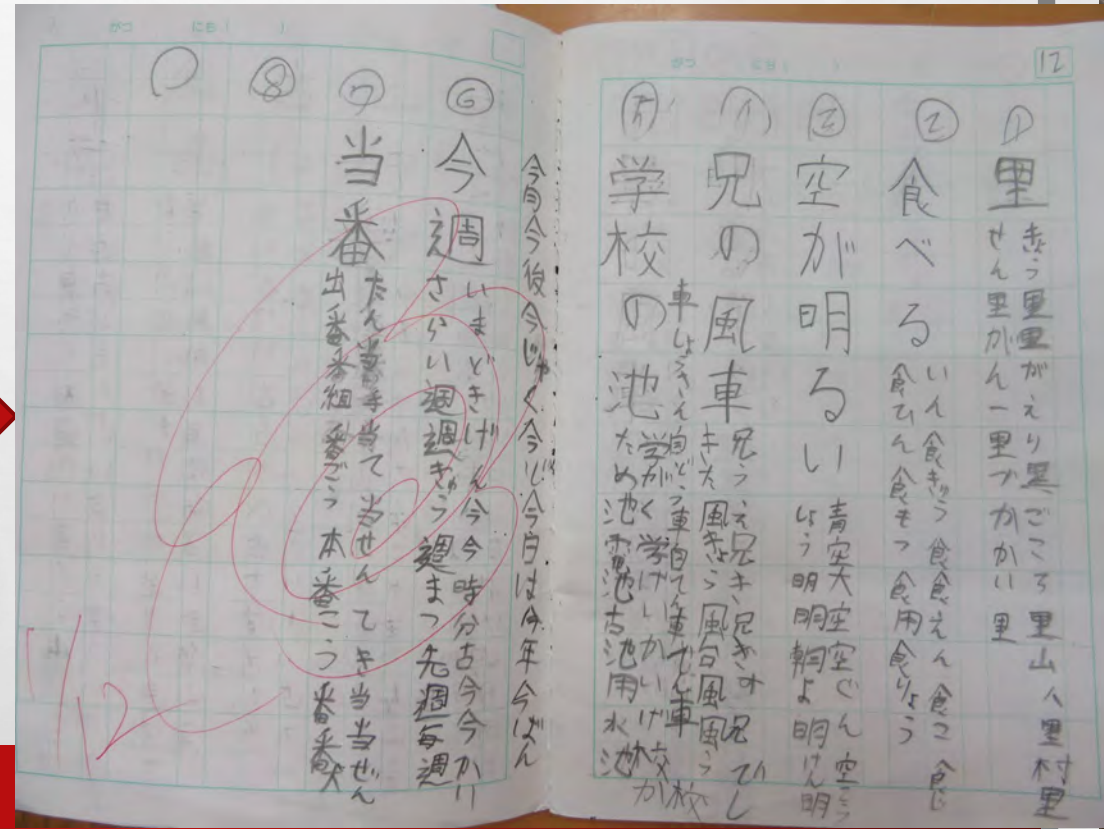
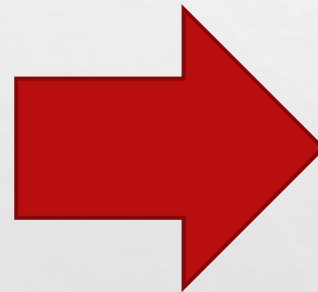
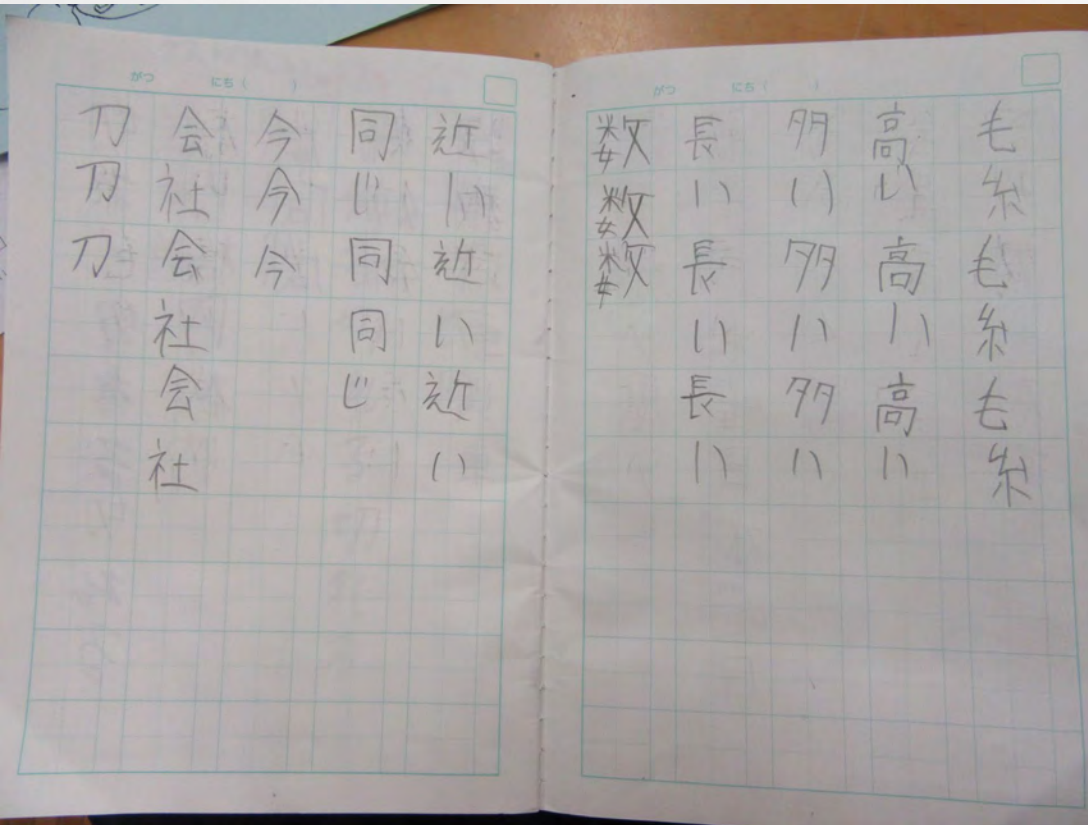
❖ かん字を書きましよう。★(一)はかん字で、(二)はかん字をかきましよう。

⑦ 文 を 直す	⑥ 計算 が はやく	⑤ 体 が 弱る	④ のさまの 来	③ やさいを 売る	② けい 馬 を見る	① 兄弟 の話 を 読む
-------------------	---------------------	-------------------	----------------	-----------------	---------------------	--------------------------

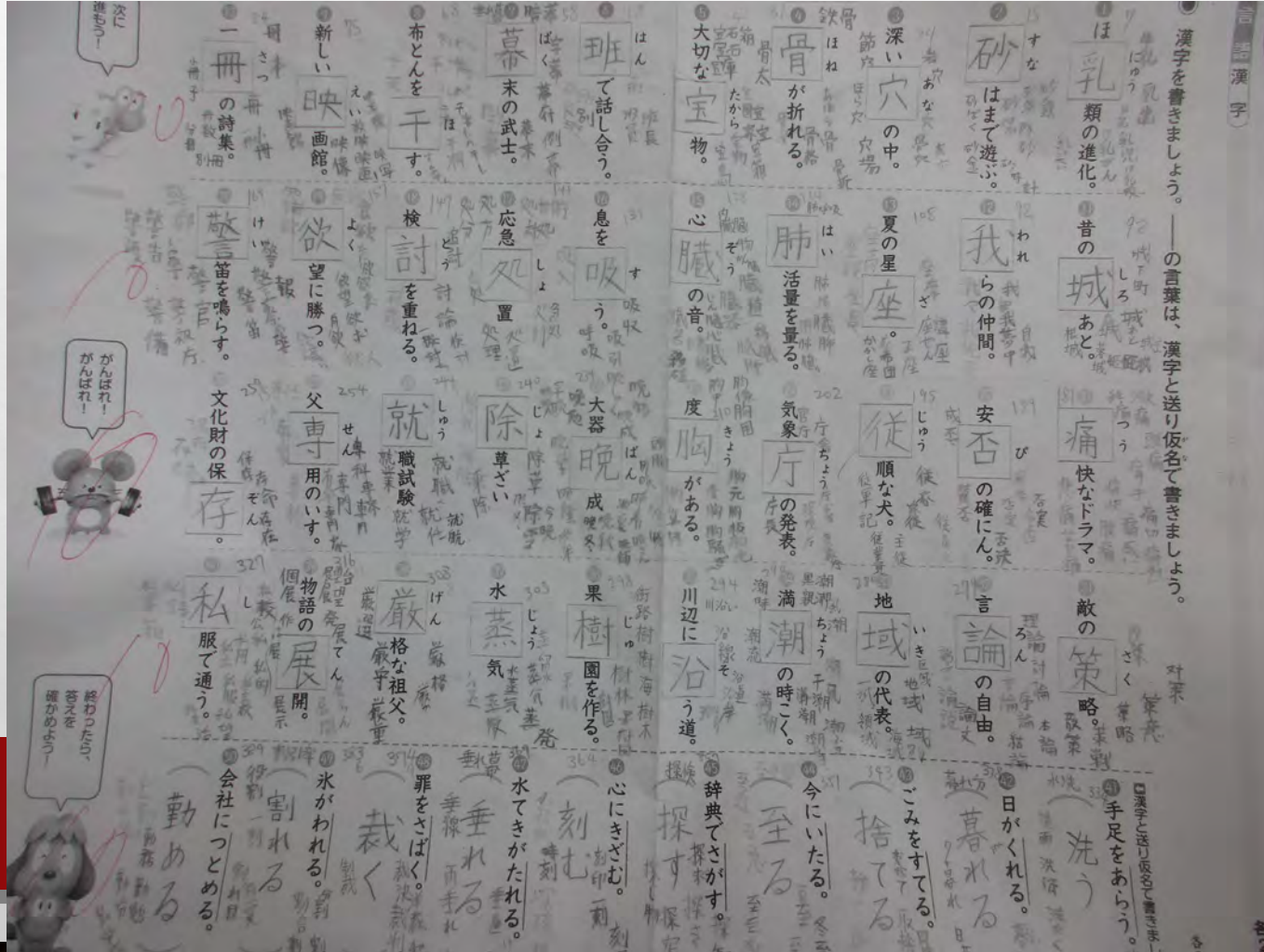
かん字をれんしゅうしましよう。

話し売	話し言世末	らく弟	きつ弟	弟次	弟一	次弟	大兄	き兄	長兄
-----	-------	-----	-----	----	----	----	----	----	----

テストに向けた練習法が変わる！



自ずと50問テストも・・・



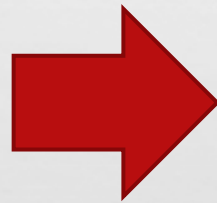
作文(日記)も変わる!

きょうのできごと

7月 19日 (金曜日) 天気

今日はじめて丸ぼうずにしてもらいました。その後にお友のあやねちゃんにいました。それでかっかいといあれ、うれしかったです。風がういたらスノーして、きもち良かったです。

7/28



きょうのできごと 長いバージョン

2月 14日 (日曜日) 天気

今日ぼくは、朝お父さんとさんぽに行きました。前のことで、さんぽはいいことだとわかってきました。なぜかという道にまよっちゃた時に、ここは通ったことがあると思、て自分の家に帰るから、大じだと思、ました。そう思、いながら行、たら、おも自、そうな場所、が、あ、たから行、てみました。地面がべたべたで、木林を見ながらぼくはお父さんに、「何で木はあるの」と聞、きました。「何でだろう」と言、ました。ぼくもそ、う思、いました。先へすすくと、す、く細、い道、がありました。たぬきとかしか通、れな、そ、うな道、でした。ギリギリ、ぼくは草、に当た、らなかつ、たりと、お父、さんは当、た、てま、した。また、今、と行、く時は、も、っとお父、さん、にし、つ、問、したいです。

ご質問回答コーナー

- 「とめ・はね・はらい」について
- 進度の差をどうするか
- 子ども達の意欲を高めるには・・・
- 漢字が極端に苦手な子には・・・

参考文献

棚橋尚子（2013）「漢字の学習指導に関する研究の成果と展望」全国大学国語教育学会編『国語科教育学研究の成果と展望Ⅱ』学芸図書

棚橋尚子（2015）「「学習法略を身につけさせることのできる漢字指導を目指して」『日本語学』第34巻5号 明治書院, PP.22-32

千々岩弘一（2015）「国語科教育における漢字指導の共有点とその源流」『日本語学』第34巻5号 明治書院, PP.10-20

ベネッセ教育研究所(2013)「小学生の漢字力に関する実態調査2013」